発　行
福井県大野市天神町1番1号
大野市役所
電話(代)6―1111
郵便番号912
印刷　松浦印刷所

市政大野

8月の人口の動き

	男	女	計
出生	32	27	59
死亡	13	20	33
転入	50	63	113
転出	42	33	75

世帯数　10,263(前月＋11)
人　口　42,611(前月＋64)
男　20,535　女　22,076

本願清水のわき水とまる

早くも井戸枯れの黄信号

本願清水のわき水が止まりました。これは毎年繰り返されているので、別に珍しいことでも、驚くほどのことでもないかも知れません。

しかし、深さが3㍍もある本願清水のわき水が止ったということは、大野盆地の地下水位が3㍍以下になったことを示しています。

早くも市街地の井戸に注意信号がついた感じです。

イトヨの保護

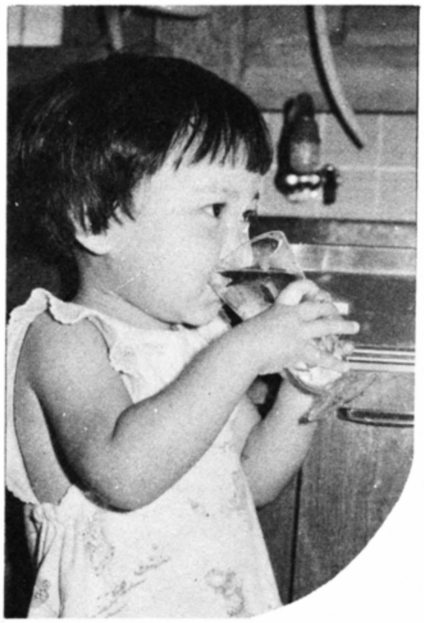
本願清水は昭和9年に〝イトヨ生息地〟として国の天然記念物に指定されました。市はこの保護、保存のため、これまでに鋼管の打ち込み・しゅんせつ、また生態調査などいろいろの対策を実施してきました。

しかし、近年は冬期の水枯れがはなはだしく、到底ゆう水を得ることができませんので、冬期間は安全な場所へ移して保護に努めています。

冬の井戸枯れはゴメン

毎年冬になると、市街地やその周辺では井戸枯れが起こっています。

ことし1月には750戸が〝生活水〟のない日々を送りました。次第に地域も広くなり、期間も長期化してきています。このため市では工場へ地下水循環装置設置奨励のため、融資や利子補給などの対策を実施していま



地下水規制を早く

松田　ちさえさん
（68歳　主婦　高砂町一区）

高砂町1区では、ことしの1月90％の家が井戸枯れで苦しみました。私の家では鋼管を2本打ってあるのですが、4日間水のない日が続きました。

幸い向かいの家からもらい水が出来ましたので、ポリ容器や1升ビン・なべなどを台所いっぱいに並べて生活をしました。米は2日分かしぎだめするとか、すすぎの水は掃除用に使うなどいろいろと工夫しました。

町内には1か月近くも井戸枯れした家庭があり、その不安と苦労は想像を絶するものがあります。

町内の婦人会では、むだな融雪水を出している家へ注意を促しにも行ってきました。

ことしもまた、渇水期が近づきましたが、今のところ節水より方法がないと思います。

市条例で地下水規制をすることは大へんよいことで一日も早く条例化してほしいのですが、それに至る段階として、この冬は各町内に融雪管理人を市が委嘱して、むだな水が一滴も使われないよう役所と市民が一体になった節水運動を進めるべきだと思います。

まず〝生活水〟を守ろう

大井　さよ子さん
（34歳　主婦　春日一丁目）

ことし1月に10日間井戸が枯れました幸い隣りの家からホースでもらい水が出来ましたので助かりました。

一番困ったのはたくさんの水が必要な洗たくで、近所へ出かけて行ってさせてもらいました。

食器をすすいだ水をポリ容器にためておいて、掃除用に使いました。このとき程水の大切さを感じたことはありません。

でも、雪も降らないのに、あちらこちらでむだな融雪用水がふき出しているのを見ると、腹立ちさえ覚えました。

また渇水期に向いましたが、この冬も井戸枯れが起きると思うと本当に不安になってきます。

市民みんなが節水して、まず〝生活水〟を守るべきだと思います。

渇水はなぜ起こる
くみ上げ量が1.6倍に

冬になるとなぜ井戸枯れが起こるのかを簡単に説明しましょう。

大野盆地の地下深層部には不透水基盤があり、地面から浸透した水がたまっています。

この地下に浸透する地下水で、私たちが使用出来るのは1日に10万トンです。

ですから、1日に10万トンまでなら使用しても井戸枯れの心配はありません。

この水量を安全揚水量といいます。

一方、現在1日に市内で使われている水量は、飲料水が2万300トン、工業用水が7万2,700トン、その他5,800トンの計9万8,800トンでまだ安全揚水量内です。

しかし冬期には融雪用水の6万1,100トンが一挙に加わりますので、その合計は15万9,900トンとなり、安全揚水量の1.6倍に当たる水がくみ上げられるため、井戸枯れが起こります。

融雪装置を備えた家庭は年々増えていますので、このままの状態では井戸枯れ地域がさらに広くなり、長期化することは明らかです。

心がけたい融雪の節水

すが、この冬を無事に乗り切るには市民1人ひとりの節水より外に道はありません。今回は4人の方に地下水問題についての意見を聴きましたので、これを紹介し、併せて冬期の地下水状況と、市の対策をお知らせしましょう。

一番の被害者は主婦

吉田　サキノさん
（市婦人会連絡協議会長）

雪が降らなくても融雪用水をどんどんくみ上げる、一方では井戸枯れして飲み水にも困る家庭がある。これがことし1月の状態でした。このような状態のときには、むだな融雪用水を止めるのが市民としての当然の義務ではなかったでしょうか。

「おいしいタダの水が、欲しいだけ使える」という、大野人の考えをまずなくさなければなりません。

井戸枯れすれば一番困るのは私たち主婦ですから、婦人会としても、会員が率先して節水を実行するよう、強い運動を進めていきます。節水の具体策としては①屋根や道路の融雪用水は出来る限り使用しない②洗たく機の流しっぱなしのすすぎはしない③じゃ口は必ずきっちり締める④ポンプのしみ止めのための流しっぱなしはしない——の4項目です。

9月に入りポンプの打ち直し工事が多くなった

家庭ポンプの能力は8メートル

千田　　正さん
（57歳　管工事業　高砂町）

1月に井戸枯れしたのは、大部分が鋼管1本 5.5メートルの家庭でした。

その後、大半が鋼管2本に打ち変えられてひと安心というところではないでしょうか。

現在は渇水期でも地下水が 7・8メートルにあるため水が出ます。しかし、鋼管打ち直し競争が続くと、二、三年でまた地下水位が下がり、鋼管2本の家庭も井戸枯れすると思います。

このとき問題になるのはポンプです。今各家庭で使用しているのは、ウエスコ型家庭用ポンプで、ワット数が大きくても最高で深さ 7・8メートルしか上げる能力がありません。

ですから、深く打ち込めば水が出るという考え方は改めなくてはなりませんし打ち込みも鋼管2本が限界です。

この冬は工場も家庭も節水を励行して限界寸前の地下水を守りたいものです。

市の対策

循環装置設置を促進

地下水問題の根本的な解決は、上水道の建設より外にありません。しかし、これには市民大半の理解と協力を得なければ出来ませんので、この建設に至るまでの当面の対策として、次の5項目を上げています。

1．地下水のかん養源として重要な働きをしているのは、真名川の上五条方から御給までの流水です。そのため、かん養源として必要な水毎秒 4.5トンを真名川へ流すよう、建設省に要請しています。

2．真名川ダムが昭和51年に完成しますと、いままで増水のとき流失していた水が、ダム調整によって新しく生かされます。市はこの新しく生かされる水を地下水かん養源にするため、真名川へ流すよう建設省へ働きかけます。

3．現在、大量の水が工業用水に使われていますが、水の循環装置を設置すると、使用量は5分の1から10分の1になります。このため、市はこの装置の設置融資として1億円のわくを設け、各企業に貸し出しています。

また、企業が低利で利用出来るよう、2.2%の利子補給をいたします。

4．市民に地下水の現状を正しく理解していただくための資料、リーフレットを作るとともに、説明会を春日児童館など5か所で開いていきます。

5．この冬の井戸枯れを防ぐには、降雪期の節水だけが頼りですから、〝節水パトロール班〟を設けて、水のケチケチ運動を強力に呼びかけていきます。

9月定例市議会

三番—鳩ケ湯間に市営バス

一般質問　地下水問題に論議集中

第 155回定例市議会は、9月13日から20日まで開かれ、「一般会計補正予算案」「バス運行事業に関する条例案」「教育委員会委員の任命について」など12議案を審議し、原案どおり可決、承認されました。

また、一般質問では、地下水問題に論議が集中し、工業用水再利用施設設置の促進、融雪用水の規制が当面の節水対策の方向として明らかにされました。

白山線料金は国鉄に準じる

「バス運行事業に関する条例」が制定され、大野三番と鳩ケ湯を結ぶ白山線に市営バスを運行することになりました。

この路線は国鉄バスが長年運行されていましたが、過疎化の進行と利用者の激減で赤字が大きくなり、昨年の11月から運休になっています。このため、市は公共の福祉を確保する上から昭和53年11月までの期限づきで、市営バスを走らせることになりました。

料金は国鉄バス料金表に準じ、大野三番—鳩ケ湯間は 500円です。

一般会計予算　3億 9,244万円を追加

一般会計歳入・歳出に、それぞれ3億 9,244万 3,000円を追加し、予算総額は40億 9,123万 3,000円になりました。

歳出予算の主なものは次のとおりです

総務　▷ごみ処理施設、気象通報所用地等の土地開発基金積立 3,000万円。

農林業　▷市農協のカントリーエレベター建設補助1億38万円。▷市農協の葉たばこ乾燥施設補助 2,600万円。▷農業構造改善事業補助として上庄機械利用組合に4,979万円、上庄農業協同組合に318万円、富田酪農生産組合に 4,884万円。▷林道鬼谷線開設工事に 480万円追加。

商工　▷地下水再利用施設設備資金利子補給110万円。▷白山線バス運行費353万円。

スマイル

「当世もらい水」

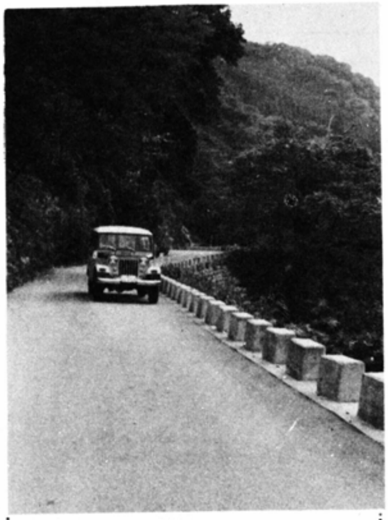
融雪に地下水とられもらい水

—オサンドン

土木　▷道路改良工事に 4,672万円追加して総額1億 8,593万円。▷除雪費に 1,632万円。

教育委員に北岑吟海氏再任

任期満了による教育委員会の委員に、北岑吟海氏(66歳　牛ケ原)が再任されました。



市営バスが走る白山線(東勝原地係)

選挙管理委員会委員決まる

任期満了による選挙管理委員会委員に次の方々が選ばれました。

坪田	豊吉氏	71歳	日吉町	再任
安川	金弥氏	68歳	下舌	再任
竹根	主計氏	70歳	庄林	新任
松山	勘右ヱ門氏	64歳	上麻生島	再任

まちのアルバム

尚徳中スクールバスが新車に

2学期から尚徳中学校のスクールバスが新車になりました。

紺と白のツートンカラーのスマートな車で84人乗り、購入費は628万 8,000円でした。▼

▲ 中国大使館員が親善訪問

中国大使館参事官肖向前氏一行4人が8月30日に大野市へ親善訪問されました

中国にゆかりのある宝慶寺や水引き工場、郷土歴史館、越前大野城などを回られ、大野市への理解を深められました。

中野都市下水路工事

来年度に完成
市街地の雨水集めて赤根川へ

大雨になると市街地の雨水があふれ、中野一・二丁目地係では度々家屋に浸水するため、昭和47年度から昭和51年度の5か年計画で、中野都市下水路の工事を進めています。

この下水路は本町通りと正膳町通りの交点から水落町・中野町一丁目・庄林を経て赤根川に至る総延長1,900㍍です。

これまでに、赤根川から北大野駅横までの区間 850㍍に、上幅が 2.4㍍、下幅 1.5㍍、高さ 1.5㍍のコンクリート3面張りの水路を 4,500万円で新設しました

ことしは 4,000万円をかけて中野町一丁目地係の北大野駅から南へ 590㍍新設します。この工事区間は、従来最もよく浸水する地域ですが、工事が完了しますと、大雨による浸水の心配はなくなります

底堀り工事が進む中野都市下水路

カントリーエレベーター試運転
モミのまま2千トン貯蔵

大野市農協組合が、堂本地係の真名川沿いに建設を進めていましたカントリーエレベーター（モミ乾燥貯蔵施設）が完成し試運転を始めました。

カントリーエレベーターは米をモミのまま大量に貯蔵する施設で、田からコンバインで刈り取ったモミをそのままこの施設に持ち込み、水分を17%に減らしてサイロに蓄えて置きます。

そして必要なときに、収穫時の鮮度とほとんど変らない米を出荷することができます。

総工事費は約3億 5,000万円で奥越地方では初めての施設です。

完成したカントリーエレベーター

貯蔵能力は 250㌧のサイロ8基で計 2,000㌧、また生モミの乾燥は1日に80㌧行うことが出来ます。

上庄農業協同組合も、来年度に建設を計画しています。

交通安全の花をどうぞ

秋の交通安全市民運動の一環として、〝清根会〟等市内の7つの青年グループ団体の女子青年が、9月22日と26日の両日街頭で秋まきの花の種子を通行人に渡し、交通安全を呼びかけました。

駅東·寺前公園の整備始まる
木植え憩いの場に

駅東公園と寺前児童公園の整備が始まりました。

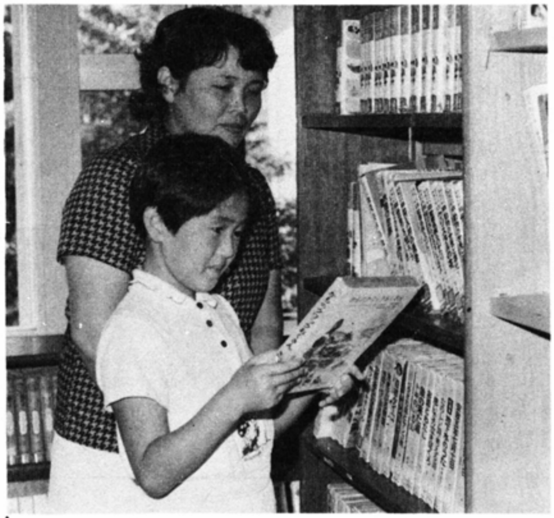
駅東公園は昨年度から昭和52年度までの4か年計画で整備を進めていますが、2年目の今年度は 1,000万円で西側と南側に土盛りをして、ケヤキ・モミ・山桜など30種約 400本を植え込んだ植樹帯を設けます。また、相撲場の観覧席を取りはらい、西側に池を造ります。

寺前公園は広さ 2,900平方㍍の中に、工費 600万円で植樹帯や休憩施設を設けスベリ台や砂場などの遊具を備えます。

両方とも土地区画整理事業内の公園で新しい町にふさわしい市民の憩いの場として整備していきます。

読書の秋 ◆◆◆

大野公民館図書の利用を
親子で活用する幅岸さん



本を選択する幅岸智代子・美保さん親子

読書の秋になりました。大野公民館の図書室では、新刊本を取りそろえて、皆さん方のより一層のご利用をお待ちしています。

現在、蔵書数は文学・歴史・科学・芸術・児童文学など合わせて1万 2,000冊今年度は約 1,000冊の新刊を購入することになっています。

利用者も年々増え、昨年は延べ1万 2,000人で、1日平均50人でした。

ことしは昨年よりも多くなる見込みで特に親子で利用される方が増えてきました。その中に蕨生の幅岸智代子さん（30歳）修一君（小学6年生）美保ちゃん（小学2年生）親子がいます。

この3人は1週間に一回公民館へ来て本の借り替えをしています。

「子供に最初は本を買い与えていましたが、毎月かなりの金額になりますので2年程前から公民館の図書を利用しています」と、智代子さんは本を選択しながら語っていました。智代子さんは織物会社へ勤めており、1週間置きに夜勤があります。また家に帰れば田や畑の仕事、それに家事が待っている忙しい婦人です。

「親子が読書の時間をもつよう心掛けていますが、仕事の関係でなかなか思うようには出来ません。それで子供には、自分で時間を決めて読書するように指導しています。また、子供が借りた本は必ず私も読んで、読書感想を話し合うことにしています。これは、親と子のきずなを強めるよい機会になり、子供の読解力を増す手助けにもなろうと思って実行しています」とも話していました。

美保ちゃんは「この間読んだ〝子ザルひよし〟はおもしろかったし、ためになりました。ちょっとわからないところがあったけど、お母さんに聞いたらよくわかりました」とつぶらなひとみを輝かせていました。

「私は本が好きだから10分でも20分でも読書する時間をつくり出すよう努めています。テレビも楽しいけれど、時間に制約されます。本は好きな時に好きな場所で楽しめるのが魅力です」という智代子さん…。

幅岸さんの家庭生活の中には読書の楽しみが生き生きととけ込んでいます。

利用者が多い大野公民館図書

㉙キリシタン灯ろう

大野の文化財

迫害された信者が、その昔灯ろうに聖母や十字架を刻み込んで、ひそかに信仰した「キリシタン灯ろう」と思われるものが、大野市下中野通称大神宮さんの境内に保存されています。今立町や遠敷郡にあるものとほぼ同型で、さおの下部には土台がなく、そのまま土中に埋めかくせるようになっています。石灯ろうは高さ 1.2㍍、さおの長さ50㌢㍍、聖母と思われる像は30㌢㍍で、地蔵の姿に似せてあります。

ここはもと花倉（松田氏）の屋敷内だったといわれています

御禁制のキリシタンと花倉家の関係は、史料上も判然としませんが、弾圧されても捨てなかった強い信仰を持ち続けた信者の血と汗を思うとき、大切に保存しなければならない織部（おりべ）灯ろうです。木本の磐座神社にも一基あります。

最高齢者は加藤くらさん

あと3か月で百歳

▲家の留守番も立派に果たす加藤くらさん

◀元気な杉本治・タケさん夫婦

長寿夫婦は杉本治・タケさん

敬老の日を前にしての9月11・12日、市長が95歳以上の特別高齢者と米寿者の家を訪問して、長寿をお祝いしました。

ことしの特別高齢者は昨年より3人多い11人、米寿者は4人少ない22人でした

市内の最高齢者は、あと3か月で100歳を迎える木本の加藤くらさんで、三度の食事にごはんにもおかずにも白砂糖をかけて食べ、3日間で 500g が必要という大の甘党です。耳は少し遠くなったものの病気はほとんどせず、現在でも家の留守番は立派に果たす達者ぶり……。

また、夫婦そろって長寿なのは千歳の杉本治さん（98歳）タケさん（94歳）です。この二人は今は寝たり起きたりの気ままな生活を送っており、市長が訪問したときは、二人とも血色のよい顔をほころばせながら玄関まで出迎え、至って元気でした。

治さんの好物は甘い物で、「昔からおかずは特別に砂糖を加えて味付けをしてきました」とタケさんは語っていました。

市内高齢1位・2位のくらさん、治さんとも大変な甘党ですが、胃腸が至って丈夫な人たちのようです。

加藤さん、杉本さん夫婦の外、市内の高齢者は次の方々です。（敬称略）

川井	幸辰	（97歳）	上篠座
田中	ゆき	（97歳）	上篠座
石本	えま	（96歳）	小矢戸
菅谷	よし	（95歳）	上篠座
東	もと	（95歳）	中据
松田	いち	（95歳）	森本
栗原	実之助	（95歳）	下麻生島
大藤	こま	（95歳）	中野
河原	みつ	（95歳）	水落町

スタートした市史編さん

資料提供に協力を

資料を検討する市史編さん委員会

大野市制20周年記念事業として、かねて準備中だった大野市史編さん委員会が正式に発足し、資料の収集などを始めています。

委員は文化財保護委員や市内郷土史研究家など7人で、事務局は大野市郷土歴史館にあります。

現在までに、郷土歴史研究の出版物はたくさんありますが今回はそれらの資料を参考にし、また新しい史実を発掘して総合的に大野の歴史をとらえ、「大野市史」を完成させようとする一大事業ですので、市民各位のご協力を特に期待しています。

各ご家庭に保存されている古文書・写真・民芸品・賞状・書状・地図等これはどうかと思われるものがありましたら、ぜひ郷土歴史館（6－0238）、または教育委員会（6－1111内線 405）へご連絡願います。

今月の納税

市、県民税　　3期分

31日までに納めて下さい。

お知らせ

◆市民体力テストは10日

市民体力テストを、10月10日（金）午前10時から午後４時まで、旧開成中学校と有終西小学校の２会場で行います。

〝自分の体力を正しく認識し、健康な生活をしよう〟をねらい、30歳から60歳までの市民を対象としています。

希望者は都合のよい時間に近くの会場へ、体操の出来る服装でお出かけ下さい

テストは無料、所要時間は約１時間で直ちに結果をお知らせするとともに、家庭で出来る体力づくりの相談もします。

◆アイデア生かした作品を募集

市貯蓄推進委員会では「暮らしの工夫展」の作品を募集しています。廃物や古物などを、あなたのアイデアで生活に生かした作品を、10月30日までに生活環境課へお寄せ下さい。市民ならどなたでも応募できます。

なお、この展覧会は11月８・９日市民会館で開きます。

◆目の愛護祈願祭に参拝を

市視力障害者福祉協会では、目の愛護デー（10月10日）にちなんで、第15回祈願祭を10月12日（日）午後１時30分から篠座神社で行いますので、ご参拝下さい

◆文化祭作品展に応募を

第９回大野市総合文化祭展示作品を次のとおり募集します。奮って応募して下さい。

〈種目〉絵画、造形（２㍍×２㍍以内）工芸、書道、デザイン（B全版以内パネル張り）写真、その他

〈出品点数〉１人２点まで

〈作品搬入〉10月30日（木）午前９時から午後５時まで市民会館へ

◆「加奈子」を見て下さい

大野町内の一商家に奉公し、大正・昭和時代を生きぬいた女性を主人公としたテレビ小説「加奈子」が９月30日から来年３月31日までの午前８時10分から20分間（土・日を除く）福井放送で放映されています。

ぜひごらん下さい。

丁坂でロケ中の「加奈子」の１コマ

◆14日に行政相談

10月12日から始まる行政相談週間にちなんで、「行政相談所」が10月14日午後１時から４時まで、市役所で開かれます

日ごろ国・県・市の行政について苦情や要望をおもちの方は、気軽に利用して下さい。

◆国勢調査漏れは商工課へ

10月１日には全国一斉に国勢調査が行われています。調査員が各家庭を訪問して調査票の記入をお願いしていますが、もし10月５日になっても調査員が訪問しない家庭がありましたら、10月15日までに市役所商工観光課（６－1111内線 351）へご連絡下さい。

◆家計簿をあっせんします

来年の〝明るい生活の家計簿〟を１部170円であっせんします。

希望者は10月20日（月）までに、市生活環境課（６－1111内線 225）へ申し込んで下さい。

◆青年祭に参加しよう

青年のみなさん！　青年祭に参加しましょう。

10月11日午後４時～10時旧開成中学校

・さあ、集まろう
　　ロックコンサート
・炎と共に（営火）
　　歌、フォークダンス、ゲーム
・青春を語り歩こう

10月12日午後１時～10時　市民会館

・青年カーニバル
　　仮装、演奏市中行進
・フォークフエスティバル
　　演劇（富田青年四季）
　　フォーク・ロックコンサート
　　のど自慢大会、歌声広場

風見鶏

わが郷土大野を舞台として最近書かれた小説が、各作とも世上好評で大きな話題を呼んでいる。昨年五月一日号の本欄で紹介した網渊謙錠氏の「朔（さく）」は北エゾ開拓、〝大野丸〟の活躍とその労苦をテーマに歴史小説として著者が世に問うた力作である。▼次に昨年秋の別冊文芸春秋に吉村昭氏が、元治元年水戸の天狗党武田耕雲斎一行が、雪に埋れた大野を通過する時の様子をつぶさに書いた「動く牙」を発表、多大の反響を得た。この両氏とも、中堅作家として押しも押されぬ存在である。▼今秋の別冊文芸春秋に、新人の有明夏夫氏が「夜明け」と題する二百枚の力作をひっさげて登場した。この作品に一年余りも打ち込んだ氏は、すっかり時代小説のトリコになった様子で「福井からさらにバスで一時間かかる大野市に取材のため何回か足を運んだ。そして、坂田玉子氏に借りた古地図を頼りに、自転車で町中を走り回った。おかげで、作品に描かれた大野の町並みも、ふろ屋も料理屋も土田龍湾邸も〝当時そのままの位置に再現できた〟」と述懐している。題に示されるとおり、幕末から明治維新にかかる日本の夜明けの縮図があたかもこの大野に再現されている。大阪の緒方港庵の門をたたく若き青年たち、適塾の塾頭伊藤慎蔵を迎える大野の表情。新しい学問とその実践を裏づける大野丸の活躍。とりわけ大野の方言が丸出しで思わず笑いがこみ上げてくる。▼大野のあけぼのに貢献した人々の一大叙事詩はこの三作に遺憾なく描き出されている。ぜひ一読を。

M生